

須藤鐘一 （小とうき） 小説家。明治十九年二月一日高根縣生れ、昭和二十

一年二月九日歿（二八六一一九六）。本名莊一。別名搖曳、須藤出雲、須

藤寒之京。明治四十一年早稻田大學文學部英文科卒。『報知新聞』記者、

博文館編輯部勤務を経く、大正十五年雜誌『文藝藝道』創刊主宰。『ち

こ越編輯長、日本百貨店新聞社編輯長など。

著譯書『（津入）大樑山鹿素行』（須藤寒之京名、大正九年十一月二十八日大成

社）、『（家延）夜話動物園』（本名、大正二年二月二十日實業之日本社）、

『傷める花片』（大正八年五月二十日新潮社）、『愛憎』（大正九年

十一月二十八日博文館）、『（童話）泉魔法使』（大正十年七月十八日東盛

堂）、『（探勝）行脚寫真秘を携へて』（大正十年十一月十日二徳社）、『勝

敗』（大正十年十一月十八日新潮社）『新進作家叢書』（、『早稻田文

藝大觀・第一卷―小説集・上巻』（公著・（長谷川）大溪、（上京）白鳥編、大正十二年

八月五日實業之日本社）、隨筆『神の通する心』（大正十五年九月十

日『（浪書刊行會）昭文堂』、『（性）白くぬく頃』（昭和五年十二月十五日春榮

閣）、エタトル・マーロー作『家なき少女』（譯、昭和十一年七月五

日春秋社）『少年少女讀物叢書』（、『（赤徳）實錄表士の面影』（昭和十六年

三月十日東京聯合通信社）、『人生の窓』（昭和十七年八月二十日東

華書房）、『（島根）尊徳岩谷九十老傳』（昭和十八年四月二十日東華書

房）、『結婚の進路』（昭和二十一年一月二十日愛育社）『愛育社文化

叢書』）等。

文献『鐘影集―須藤鐘一追悼』（昭和二十八年十月十日鐘影集刊行

會）等。